

土砂災害

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

土砂災害警戒情報とは

「土砂災害警戒情報」は、大雨警報(土砂災害)の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報です。

土砂災害の種類と前兆現象

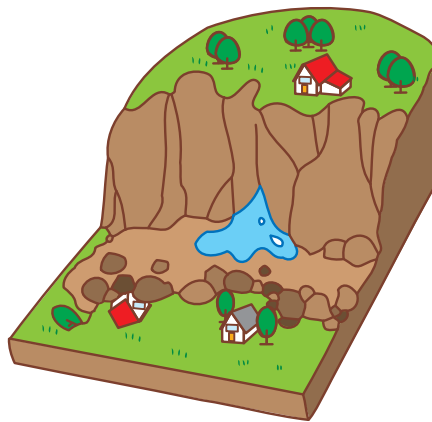
土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。

土石流危険渓流



山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

急傾斜地崩壊危険箇所(がけ崩れ)



地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなります。

地すべり危険箇所

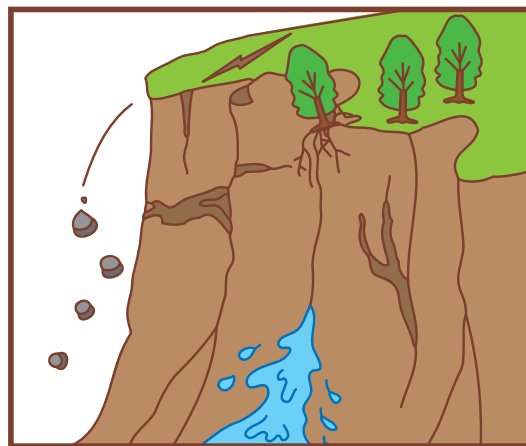


斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。

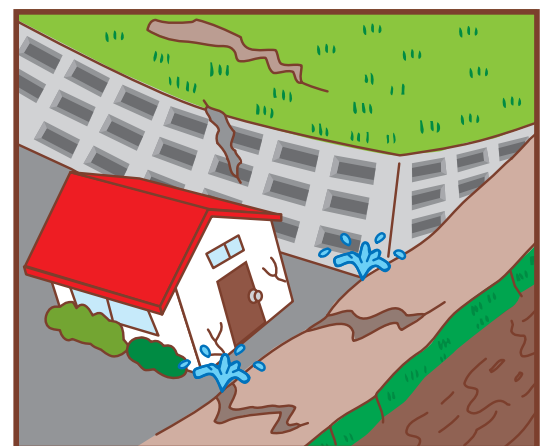
! 次のような前兆現象を感じたら速やかに避難するようにしましょう。



- 川の水位が急に下がる
- 急に水が濁る
- 流木が混じって流れる
- 異常な山なりがする・地鳴りがする



- わき水が止まる(あるいは噴き出す)
- 小石がバラバラ落ちる
- 木が傾いたり倒れる
- 斜面にひびわれが入る



- 家が傾く
- 川や池が濁る
- 水が噴出する
- 道路などにひびわれや段差ができる